

発行 日本共産党南知多支部



連絡先  
〒470-3321 南知多町  
内海内塩田77-3  
(南知多町議会議員)  
内田 保  
電話 0569-62-1816  
携帯 090-2776-7529

# 内田たもつだより

内田たもつ ホームページ  
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行  
**赤旗**  
日刊 3497円  
日曜版 930円

## 内海・片名のJAグリーンプラザをなくさないで！

### 地元住民 閉店中止の要請

豊浜や内海、奥田など近隣のヤナギスーパーが撤退する中、9月26日にJAグリーンプラザ内海店と片名店が閉店するという情報がありました。毎日の食料品をここで買っていた内海の住民たちは「閉店しないほしい」と8月31日と9月14日にJAの担当課長・理事・店長と話し合いをし、要請をしました。内海のAさんからの情報をお知らせします。



JAグリーンプラザ内海

### J Aは農業を支え、 農民と農産物を消費している 住民を支える組織のはず

全国でも、スーパーがなくなり買い物難民が出てきている町が少なくないようです。南知多町も同じように、人口減少で過疎化と高齢化が進んで、買い物に困る町になりつつあります。内海地区では4月頃にJA店の閉店の噂が広がり、住民から「閉めないでほしい」という多くの声が出ました。その時はまだ決定ではないとのことでしたが、8月に閉店の貼り紙が貼られました。

### 食料が買えなくなる 閉店しないで！

住民の声・意見

- 日々の食料品の80%以上をJA内海店で買っています。私は車も返納し、生活維持になくてはならない店です。なくなると本当に困ります。
- 魚屋さんが来るのに合わせて利用していました。
- 団子屋さんも時々来ていて、買うことができてありがたかった。
- 豚肉・牛肉も品質が良く、利用していた。
- 農協の店なのに簡単に閉店していいの？
- 小さい店なりの工夫をして楽しく買い物できる店にしたい。

JAは農業協同組合で多くの組合員に支えられて、今日の巨大な組織になっています。小さな店が赤字になったからと切り捨てるのではなく、住民や組合員の生活に寄り添ってほしいと、8月31日に、内田議員も参加し地元の住民7人が、産直担当課長、グリーンプラザ内海の店長と話し合い、要請しました。(裏面参照)

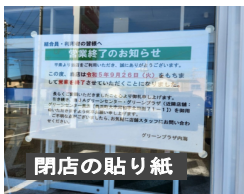
### 高齢者の命を支える町の店



#### (川柳コーナー)

衣食住がそろって安心して生活できます。南知多町では食料品が買える店がどんどんなくなり、車のない高齢者は買い物に行けない、何より大事な「食」が確保できない町になりつつあります。行政の支援が必要です。

小さな町の住民の生活を助けていくこともJAの大きな役割の一つではないでしょうか。身近なお店として工夫を凝らし、存続を検討してもらいたいものです。



閉店の貼り紙

## 豊保所近くの太陽光発電設置について説明会を

豊浜東部地区で7月に回ってきた回覧板に、かるも保育所奥の池田地区に太陽光発電設備設置の案内がありました。

これを見た住民Bさんが、保育所もあり、狭い道路なので、工事車両が入り際の安全の確保等について説明会が必要ではないかと区に求めました(裏面参照)。Bさんからの連絡を受け、内田議員も町に説明会を要請しました。

太陽光発電設備設置については条例ができ、住民から求められれば、住民説明会を開かなければなりません。周りが問題ない場所であっても、工事の際は、工事車両が通る道の安全確保等が求められます。住民説明会は、今準備中だとのこと。



かるも保育所への入口

## 工事車両が通る道の安全確保を

本工事現場に至る県道大井豊浜線はかねてから道幅が狭く、河川が並行して流れ、極めて危険な道路です。また、かるも保育所は、防災時の緊急避難所として指定されているなど、住民にとって重要な地域です。

## 説明会の開催を

内海の太陽光発電設備の設置に関わる乱開発が大きな問題になり、町は業者に対し、厳しい条例を作成しました。

今回の場合は、周りの環境への影響はあまりないようですが、地域的に保育所やこの地域に住んでいる住民の安全が求められます。

説明会を開催し、工事の日程や工程、工事資材置き場や駐車場、作業口や作業時間、車両の出入り、道路のガードマンの配置等を住民に説明し、住民の納得のもとで進めなければなりません。

も保育所の送迎の車のラッシュもあ

